

# ふれあい

No.195

ふれあいネットワーク

## 令和元年度 新十津川町社会福祉大会・福祉のつどい開催

新十津川町社会福祉大会・福祉のつどいが、10月19日、ゆめりあ、改善センターの両会場で開催され、福祉関係者や町民など約600人が参加しました。

式典では、佐川純社会福祉協議会長による式辞の後、永年に亘り福祉に尽力された5個人に対して次のとおり表彰状及び感謝状が贈られました。

### 【社会福祉協議会顕彰】

▽永年役員功労表彰

橋本区 照井 光一 様

橋本区 美濃 弘子 様

▽地域福祉功労表彰

花月区 奥田 幸雄 様

▽永年善行功労表彰

花月区 木村 文秋 様

▽労力的援助感謝

青葉区 出田 輝義 様



表彰状を受けた方々。  
右から照井光一様、美濃弘子様、奥田幸雄様、木村文秋様、出田輝義様

このあと熊田義信町長、笹木正文町議会議長より祝辞が述べられました。

また、小

中学校の児童、生徒の

福祉作文コン

クール入

賞者12名が

作品を発表

し、最終審

査のあと、表彰が行われました。

(結果はページ下段から掲載)



式典で式辞を述べる  
佐川社会福祉協議会長

福祉のつどいでは、赤十字奉仕団による手作りの豚汁や女性団体連絡協議会、子ども

会育成者連

絡協議会に

よるおしる

こ、他にも

各福祉団体

やボラン

ティアアグ

ループによ



ジャグリングで会場を沸かせた  
パフォーマー時雨

る模擬店が軒を連ね、来場者に販売されたほか、ピエロのバルーンショーやパフォーマー時雨によるジャグリング、ふれあい抽選会が行われ楽しいひと時を過ごしました。

### 福祉作文コンクール入選結果

(佳作については氏名のみ)

【小学生の部】

▽金賞

「高齢者の免許返納」

黒澤 和尊 (6年)

▽銀賞

「認知症の方との接し方」

山森 さほ (6年)

「相手の立場にたってみて」

諏方 華蓮 (6年)

▽銅賞

「のばしたかみを切って」

政所 和花 (5年)

「私ができるボランティア活動」

片山 裕美 (5年)

「お年寄りと障害者」

菅原 愛瑠 (6年)

▽佳作

片岡 怜 (5年)

亀谷 翔子 (5年)

西野 葉奈 (5年)

井上 詩奈 (5年)

後木 結衣 (5年)

今井 健介 (6年)

松原 七海 (6年)  
白石 心 (6年)  
原田 あい (6年)  
村本 美菜 (6年)

【中学生の部】

▽金賞

「高齢者との交流」

花輪 紅華 (1年)

▽銀賞

「夢からはじまる笑顔」

西野 優奈 (1年)

「今、私達にできること」

菅原 悠華 (1年)

▽銅賞

「心のバリアフリー」

千葉 萌楓 (1年)

「ほんの少しの思いやり」

前田 優月 (1年)

「ひいおばあちゃんに出来たこと」

本間 希愛 (1年)

▽佳作

片山 和美 (1年)

小松 莉子 (1年)

斎藤 帆花 (3年)

佐々木桃菜 (1年)

藤井 美悠 (1年)

大浅 巴菜 (1年)

片岡 凜 (1年)

清水 花菜 (1年)

田中 玲華 (1年)

日野 魁人 (3年)

※敬称略  
金賞2作品についで、次号の「ふれあい」に掲載します。



ふれあい昼食会 開催

9月18日、ボランティアサービスを利用している人とボランティアを提供している人の交流会「ふれあい昼食会」が、歳末たすけあい義援金の地域福祉サービスマジックを受けて開催されました。

昼食会には52人が参加して、ボランティアグループによる手作りお弁当を味わいながら、簡単なレクリエーション・ゲームやビンゴゲーム、おかりな工房『北の銀河』（中央533-15）古館孝広さんによるオカリナ演奏が披露され、交流の輪を広げました。



古館孝広によるオカリナ演奏

「第14回赤い羽根チャリティーカラオケ」

開催のお知らせ

赤い羽根共同募金運動のPRと興行募金の一つとして定着した「赤い羽根共同募金チャリティーカラオケ」を本年も開催します。

入場料は必要経費を除き、すべて赤い羽根募金となり、昨年の募金額は15万5450円となりました。

本年も趣向を凝らしたステージを披露いただけるよう町内の団体、行政区などの方々に出演依頼を行います。みなさんのご来場をお待ちしております。



昨年の第13回赤い羽根チャリティーカラオケの様子



日時 12月8日(日)  
13時00分開演(12時30分開場)  
場所 総合健康福祉センター  
「ゆめりあ」ホール  
入場料 前売り500円(当日600円)  
※販売予定枚数に達した場合、販売を制限させていただきます。  
入場券 ゆめりあ、農村環境改善センター、イースト文具商会にて販売中  
問合せ 新十津川町共同募金委員会 ☎76-2600  
(新十津川町社会福祉協議会)



## 歳末たすけあい運動

### スタート

12月1日から年末にかけて、歳末たすけあい義援金運動を実施します。この運動は、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう住民相互の支えあいの運動です。

みなさんからの義援金は、町内の生活に困窮している寝たきり高齢者やその介護者、在宅独居高齢者、母子・父子世帯などに見舞金として贈呈されます。

赤い羽根共同募金同様、みなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。



## 令和元年度

### 歳末たすけあい見舞金の贈呈希望について

新十津川町共同募金委員会と新十津川町社会福祉協議会では、行政区長および民生児童委員に調査を依頼し、町民のみなさんから寄せられた「歳末たすけあい義援金」を、町内

在住の生活にお困りの方々に見舞金として贈呈しています。今年度も調査を依頼していますが、本人または代理人からの申請も受け付けています。

「歳末たすけあい見舞金」の贈呈を希望される方は、新十津川町共同募金委員会（新十津川町社会福祉協議会）に申請をしてください。なお、申請後、共同募金委員会で審査を行った結果、見舞金の贈呈に該当しない場合もありますのでご承知おきください。

## 歳末たすけあい見舞金を 受けたい方へ

### 1 見舞金贈呈対象者

生活が困窮しており、次に該当する者および世帯ただし、生活保護受給世帯・福祉施設入居者は除く。

- ①在宅寝たきり高齢者
- ②重度身心障がい者
- ③在宅独居高齢者（70歳以上）
- ④高齢者夫婦世帯（双方が70歳以上）
- ⑤母子・父子世帯
- ⑥その他の一般世帯で特に生活が困窮している世帯

### 2 申請書類

共同募金委員会（社会福祉協議会）窓口でお渡しします。（申請には印鑑が必要です。）

### 3 申請先、申請方法

共同募金委員会（社会福祉協議会）に直接申請してください。

### 4 申請期限

令和元年11月15日（金）まで（期日厳守）

### 5 贈呈の方法

共同募金委員会審査委員会の審査を経て贈呈の可否を決定します。（12月下旬贈呈予定）

### ◆◆◆申請に関する問合せ◆◆◆

共同募金委員会（新十津川町社会福祉協議会）  
新十津川町字中央307番地1 ゆめりあ内  
電話 76-2600



## 街頭募金へのご協力 ありがとうございます

赤い羽根共同募金運動がスタートした10月1日から3日まで、町内3か所で街頭募金を行いました。

街頭には、赤十字奉仕団のみなさん、共同募金委員会役員が出役し、赤い羽根運動のPRを行ったほか、募金への協力をお願いしました。



Aコープ前及び三枝商店前での募金活動の様子

社協ホームページは下のQRコードからいつでも閲覧することができます。



## 新十津川町身障福祉協会

### 中空知ブロック交流会参加

9月11日、雨竜町公民館において中空知ブロック交流会が開催され、会員11名が参加しました。昨年に引き続き、パラリンピックの競技種目にもなっている「ボッチャ」が行われ、中空知管内の身障福祉協会会員と交流を深めました。

身障福祉協会では会員を募集しています。身体障害者手帳の交付を受けられている方であればなたでも入会できます。

興味のある方は事務局（社会福祉協議会 76-2600）までお問い合わせください。

Tel

## 令和元年度

### 社協役員研修実施

9月10日、社会福祉協議会役員及び共同募金委員会役員、そして新十津川町職員延べ15名が、昨年9月に発生した胆振東部地震で甚大な被害を受けた町の一つ「むかわ町」を訪問し、復旧・復興の現状や災害ボランティアセンターの運営について研修したほか、町内を視察し、本町における今後の災害対策等の参考としました。

## 給食サービス配送ボランティア

社会福祉協議会では一人暮らしの虚弱高齢者や重度障がい者に対し、お弁当を配達する給食サービスを行っています。

週1回お弁当を配達していただける方を募集しています。

### — ボランティアの内容 —

社会福祉協議会の車で、高齢者宅（約10件）に給食の配達

### — 活動日時 —

毎週水曜日、午前10時30分から1時間程度



配達中の万一の事故に備え、保険に加入しています。

## 社協雑記

近年、台風が日本列島を直撃し、各地で甚大な被害が発生しております。

今回の台風19号では、北海道に被害はなかったものの、東日本では広範囲に渡り記録的な大雨が降り、多くの河川の氾濫や堤防の決壊が発生し、残念ながら死者も出てしまいました。

先日、たまたま、仕事で札幌市民防災センターへ行く機会がありましたが、センターの1つのコーナーに災害バーチャル体験コーナーというものがあり、札幌市を流れる豊平川が氾濫した場合などを想定したリアルな映像を通して災害の恐ろしさを学びました。

私が居住する地域も、いつどんな災害に見舞われるかわかりません。自分の身を守るためにも、今一度防災グッズやハザードマップを確認するなど、防災意識を高めていくことが大切だと思いました。

N. A

## ご厚情感謝申し上げます

### ● 社会福祉協議会へ ●

◆ 中嶋和己さん(花月)	3万円
◆ 故隆己様生前のお礼	
◆ 河村たみ子さん(橋本)	10万円
◆ 故健治様生前のお礼	
◆ 中川英子さん(橋本)	3万円
◆ 故誠様生前のお礼	
◆ 山崎隆さん(橋本)	5万円
◆ 故美代様生前のお礼	
◆ 工藤盛雄さん(花月)	5万円
◆ 故敬子様生前のお礼	
◆ 渡辺友江さん(弥生)	2万円
◆ 故武様生前のお礼	
◆ 政所 努さん(大和)	5万円
◆ 故田鶴子様生前のお礼	
◆ 小林 勝さん(総進)	3万円
◆ 故正美様生前のお礼	
◆ 斉藤雄一さん(花月)	3万円
◆ 故八重子様生前のお礼	

みどり区 新井ケイ子様より、あざれあ工房へ、毛糸やフェルトなどをいただきました。

あたたかい善意ありがとうございます。